多様性と倫理 1Aクラス 安達 宏之			
XE AK			
NE-41024			
NEd1024 2020。2022年度十学 教育 立学與 如旧教育学科 1年 / 2020。202	22年度 十党 教育人立党部 旧竞教育党科 1年 / 2	2020~2022年度 十学 #	t 奈人女学部 心理学科 1年 /2020~2022年時
大学 人間生活学部 健康栄養学科 1年/2020~2022年度 大学 人間生 2022年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福·介護コース 1年/	生活学部 食物栄養学科 1年/2020~2022年度 7 /2020~2022年度 大学 教育人文学部 文芸文化	大学 教育人文学部 文芸 学科 多文化·共生コース 1:	文化学科 芸術・文化コース 1年/2020〜 年/2020〜2022年度 大学 人間生活学部 人間
1年	開講期	2022年度前期	
講義	単位数	2単位	
		,l	
無			
無			
「生物多様性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、	多様性と倫理について考えていく。共通科目	「十文字学」の「人間と	自然を学ぶ」領域の科目である。
			نگ ^ن ه
教科書を使用した講義と、生物や自然、環境問題に関する画像や映 答を織り交ぜ、学びを深めていく。	中像を提示した講義から成る。また、具体的な認	果題を提起して質疑応	レポート/ディスカッション
1 「生物多様性」の基礎知識を得る。 2 「生物多様性」の現状と課題を知る。 3 「(生物)多様性と倫理」、これらの法・社会の在り方につい	って理解する。		
NE①-1 読み解くカ/NE⑤-2 課題解決能力/NE⑤-4 論理的思	思考力		
シラバスを確認するとともに、テキストの目次を中心に読み、本摂	受業の全体像をイメージする。		
	- ーニングとしては、毎回、課題を提起して回答	 手してもらうなどのディ	スカッションを織り交ぜながら講義を実施す
1 「多様性と倫理」を考える			
2 「生物多様性」とは何か			
【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業	第内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解	『を再確認する。	
3日本社会の現状とグローバリゼーション(共通授業テーマ) ※グローバリゼーションについての基礎的な知識を身につけ理解 ワークシートを活用して授業を展開	8を促す		
4 企業と環境			
		-	
5 企業と生物多様性			
6 企業と環境 一各企業の取り組みと課題			
7人學与集集人			
	at 」 业計策能があるといわさる日がキエ・・・		
8 持続可能な社会のための課題と取り組み〔共通授業テーマ〕 ※SDGs(持続可能な開発目標)についての基礎的な知識を身に ワークシートを活用して授業を展開	つけ理解を促す		
9 海の生物多様性と倫理、社会① ―東京湾三番瀬の自然と開発			
	■ 当該箇所の論点や自らの見解をまとめる		
【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業		昇を再確認する。	
		『を再確認する。	
	大学人間生活学部 健康栄養学科 1年/2020~2022年度 大学 人間 2022年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 1年 2020年度 大学 教育人文 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 1年 1年 講義 「生物多様性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、前半は、生物多様性を中心にした環境問題の現状や国際社会の動態後半は、前半から抽でする 6億 理を紹介するともに、生物多様性 教科書を使用した講義と、生物や自然、環境問題に関する画像や8 答を織り交ぜ、学びを深めていく。 1 「生物多様性」の現状と課題を紹介。 2 「生物多様性」の現状と課題を紹介。 2 「生物多様性」の現状と課題を紹合。 3 「生物)多様性と倫理」、これらの法・社会の在リ方につし NE②・1 読み解くカノNE⑤・2 課題解決能力/NE⑤・4 論理的現 2 「生物多様性」の現状と課題を知る。 3 「生物)多様性と倫理」、これらの法・社会の在リ方につし NE②・1 読み解くカノNE⑤・2 課題解決能力/NE⑤・4 論理的現 2 「生物多様性」を考える 【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を浸 3 日本社会の現状とグローバリゼーション (共通授業テーマ) ※グローバリゼーションについての基礎的な知識を身につけ理解 3 日本社会の現状とグローバリゼーション (共通授業テーマ) ※グローバリゼーションにの正の基礎的な知識を身につけ理解 7 中のショートを選用して授業を展開 【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を浸 (事後学習) 今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 4 企業と環境 「事余学習」今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 5 企業と生物多様性 「事余学習」の回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を透 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を通常を担意しませために、授業 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を選 「事後学習 今回授業のテキスト箇所を通常である。 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を通常である。 1 事後学習 今回授業のテキスト箇所を通常を表しませために、授業のデオスト箇所を通常を通常を表しませために、授業の学を表しませために、授業の学を表しませためれる。 1 事後学習 今回標を発音の表しませために、授業の学を表しませために、授業の学を表しませために、 1 事後学習 今回検験を表しませために、 1 事後学習 今回授業を表しませために、 1 事後学の 1 事後学の 1 事後学の 1 事後学の 1 事後学習 1 事後を表しませために、 1 事後が可能を表しませために、 1 事後を表しませために、 1 事様の表しませために、 1 事後を表しませために、 1 事後を表しませために、 1 事後を表しませために、 1 事後を表しませために、 1 事後の表しませために、 1 事後	### 2022年後大学、日本記述等を、開発性力性、経済、企業、企業を受け、対している。 「生物学権性」をキーワードに、具体的な事例を取り、目前となった。 「生物学権性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、参様性と倫質についてきえていく。共認利用 類類 「生物学権性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、参様性と倫質についてきえていく。共認利用 類類 「生物学権性」をキーワードに、具体的な事例を取り上げながら、参様性と倫質についてきえていく。共認利用 が申は、生物多様性と中心にした環境開展の現状や国際社会の動物、個別事例を進して、生物多様化の関係を多くを表しまして、生物多様化とのである。また、具体的な認識を特別である。 「生物多様性」の基礎が顕定を呼る。 「生物多様性」の基礎が顕定を呼る。 「生物多様性」の最近が異なる。 「生物多様性」の最近が顕定を呼る。 「生物多様性」の最近が異などもに、現境開発に関する国金や時後を提示した消養から成る。また、具体的な認定を繰り返して対象を使用した消費と、主体のを経りを通りまして、生物を経し、関連を知る。 「生物多様性」の最近が異なども、 「生物多様性」の最近が異なり、またらの法・社会の在リカについて理解する。 NEO-1 係み解くカ/NEO-2 課題解決能力/NEO-4 接種的を考力 シッパスを確認するとともに、デモストの目次を中心に読み、本提集の会体像をイメージする。 現料書を使用した消費を基本に、学びを定めていく。アクティブラーニングとしては、毎回、課題を提花して回答(以下、各回の限定をもあれる。 「生物学型」の開設室のテキスト国所を追放し直すとともに、提集内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとめる「事後学型」今回投棄のテキスト国所を通弦し直すとともに、提集内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとめ、「事後学型」今回投棄のテキスト国所を通弦し直すとともに、提集内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとの表質を表する。 「生物学型」会理検す時に合けられる次回投業のテキスト国所を通法し、当該国所の論点や自らの見解をまとめる「事後学型」今回投棄のテキスト国所を通弦し直すとともに、投業内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとめる「事後学型」今回投棄のテキスト国所を通弦し直すとともに、投業内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとめる「事後学型」今回投業のテキスト国所を通弦し直すとともに、投業内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとの見事後学目 今回投業のテキスト国所を通弦し直すとともに、投業内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとの見事後学目 今回投業のテキスト国所を通弦し直すとともに、投票内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとの見事後学型)今回投業のテキスト国所を通途し直すとともに、投票内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとの見事後学目)(回投業のテキスト国所を通途し直すとともに、投票内容を振り返り、当該置所の論点や自らの見解をまとの見事後学目 の見解をすとの見事を対していると思いましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし	日本

事後学習・次回事前学習		受業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や 記し直すとともに、授業内容を振り返り、当該簡		
第11回	'			
受業内容	11 人と生物多様性① 一生命倫理、環境倫理	を考える		
事後学習・次回事前学習		受業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や もし直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇		
第12回	'			
受業内容	12 人と生物多様性② 一人にとって保全すべ	き生物多様性とは		
事後学習・次回事前学習		受業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や 記し直すとともに、授業内容を振り返り、当該簡		
第13回	'			
授業内容	13 法と生物多様性① 一人権と「自然の権利	」、「動物の権利」		
事後学習・次回事前学習		受業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や もし直すとともに、授業内容を振り返り、当該簡		
第14回				
受業内容	14 法と生物多様性② 一環境法の進展と課題			
事後学習・次回事前学習		受業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や もし直すとともに、授業内容を振り返り、当該簡		
第15回				
受業内容	15 まとめ 一生物多様性の保全とは何か			
事後学習	今回授業のテキスト箇所を通読し直すととも	に、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自	目らの見解を再確認する。	
フィードバック	授業中の質疑応答において提起された質問や	p意見についてはその都度コメントを加える。 ま	た、その後の授業においても、必要に応じて	取り上げていく。
	授業への参加度30%(毎回の講義において質	賃間をするので積極的に議論に参加する)、レカ	ドート70%とし、総合評価60点以上を合格と	する。
評価方法および評価の基準	到達目標1 授業への参加度10%/30% レ: 到達目標2 授業への参加度10%/30% レ: 到達目標3 授業への参加度10%/30% レ:	ポート30%/70%		
数科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
生物多様性と倫理、社会	安達宏之	法律情報出版		
佐薦書・参考文献				

履修上の助言、教員からのメッセージ

地球環境が危機的な状況の中、「生物多様性」が国際社会のキーワードのひとつになっています。その現状と課題を学ぶとともに、「生命とは何か」「人と他の動物は異なるのか」 「保全すべき生物多様性とは何か」など、私たちが生きていくうえで大切な疑問も丁寧に考えていきたいと思います。

科目名	多様性と倫理 2Aクラス			
担当教員名	安達 宏之			
ナンバリング	NEd1024			
学科	2020~2023年度 大学 教育人文学部 幼児教育等年度 大学 教育人文学部 心理学科 1年/2020~活学部 食物栄養学科 1年/2020~2023年度 大人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 2020~2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉等日本語・日文コース 1年/2020~2023年度 大学 人デザイン学科 1年	2023年度 大学 人間生活学部 係学 教育人文学部 文芸文化学科 1年/2020~2023年度 大学 教 対社福・保育コース 1年/20	建康栄養学科 1年 芸術・文化コー 育人文学部 文芸 20~2023年度 大	/2020~2023年度 大学 人間生 ス 1年/2020~2023年度 大学 文化学科 多文化・共生コース 1年/ 学 教育人文学部 文芸文化学科
学年	1年	開講期	2022年度後期	
授業形態	講義	単位数	2単位	
実務経験の有無	無			
実務経験および科目との関連 性	無			
ねらい				
①科目の性格	「生物多様性」をキーワードに、具体的な事例 きる」の「人間と自然を学ぶ」領域の科目であ			ていく。共通科目「社会に生
②科目の概要	前半は、生物多様性を中心にした環境問題の現 後半は、前半から抽出できる倫理を紹介すると とは何かを学ぶ。			
③授業の方法(ALを含む)	教科書を使用した講義と、生物や自然、環境問る。また、具体的な課題を提起して質疑応答を			レポート/ディスカッション
④到達目標	1 「生物多様性」の基礎知識を得ることがて 2 「生物多様性」の現状と課題を知ることか 3 「(生物)多様性と倫理」、これらの法・	できる。	ることができる。	
⑤ディプロマ・ポリシーとの 関係 (右の資質・能力を育成 することを目的とする)	NE①-1 読み解く力/NE⑤-2 課題解決能力	/NE⑤-4 論理的思考力		
第1回				
事前学習	シラバスを確認するとともに、テキストの目次 る。	ママップ で中心に読み、本授業の全体的 できます かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	象をイメージす	180分
授業内容	教科書を使用した講義を基本に、学びを深めて うなどのディスカッションを織り交ぜながら請 1「多様性と倫理」を考える			課題を提起して回答してもら
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し 所の論点や自らの見解を再確認する。			180分
第2回				
授業内容	2 「生物多様性」とは何か			
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し 所の論点や自らの見解を再確認する。			180分
第3回				
授業内容	3日本社会の現状とグローバリゼーション(共 ※グローバリゼーションについての基礎的な ワークシートを活用して授業を展開			

事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や 自らの見解をまとめる。	180分
	【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する。	
第 4 回	·	
	4 企業と環境	
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する。	180分
第5回		
授業内容	5 企業と生物多様性	
[大来[1]古	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や	
事後学習・次回事前学習	日本的 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	180分
第6回		
	6 企業と環境 一各企業の取り組みと課題	
	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や	
事後学習・次回事前学習	自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する。	180分
第7回		
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇 所の論点や自らの見解を再確認する。	180分
第8回		
授業内容	8 持続可能な社会のための課題と取り組み〔共通授業テーマ〕 ※SDGs (持続可能な開発目標) についての基礎的な知識を身につけ理解を促す ワークシートを活用して授業を展開	
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する。	
第9回		
授業内容	9 海の生物多様性と倫理、社会① 一東京湾三番瀬の自然と開発	
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する。	180分
第10回		1
	10 海の生物多様性と倫理、社会② 一自然再生と市民参加の課題	
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇 所の論点や自らの見解を再確認する。	180分
第11回		
授業内容	11 人と生物多様性① 一生命倫理、環境倫理を考える	
事後学習・次回事前学習	【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や 自らの見解をまとめる。	180分

事後学習・次回事前学習 第13回 授業内容 1 2 第14回 授業内容 1 第15回 授業内容 1 第15回 授業内容 1 第24章 15回 授業内容 1 1 1	【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確的 13 法と生物多様性① 一人権と 【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確的 【事後学習】今回授業のテキ語所の論点や自らの見解を再確的	と「自然の権利」、「動物の権利」 げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 法の進展と課題 げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打	授業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や 受業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や	180分
事後学習・次回事前学習 第13回 12 事後学習・次回事前学習 第14回 受業内容 12 事後学習・次回事前学習 第15回 受業内容 1 長後学習・次回事前学習 第15回 受業内容 1 1 1 2 4 4 5 4 5 6 7 6 7 8 8 9 1 1 1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4	【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確的 13 法と生物多様性① 一人権 2 【事前予習】授業終了時に告自らの見解を再確的 「事後学習】今回授業のテキ確的。 【事前予習】授業終了時に告自らの見解を再確的 【事前予習】授業終了時に告自らの見解を表として、 【事前予習】授業終了時に告自らの見解を再確的。 【事後学習】今回授業のテキでの。 【事後学習】今回授業のテキでの。	げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 と「自然の権利」、「動物の権利」 げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 法の進展と課題 げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打	授業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や 受業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や	180分
事後学習・次回事前学習 第13回 2 第13回 2 第次回事前学習 第14回 2 第15回 第15回 2 第15回 2 第15回 2 第16回 2 第16回 2 第16回 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確的 13 法と生物多様性① 一人権 と 【事前予習】授業終了時に告 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確的 【事後学習】授業終了時に告 自らの見解をまとめる。 【事後学習】受異に告 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確的	スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 と「自然の権利」、「動物の権利」 げられる次回授業のテキスト箇所 スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 法の進展と課題 げられる次回授業のテキスト箇所 スト箇所を通読し直すとともに、打	授業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や 受業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や	180分
世 関業内容 事後学習・次回事前学習 第14回 授業内容 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確 14 法と生物多様性② 一環境注 【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確	げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 去の進展と課題 げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打	を通読し、当該箇所の論点や 受業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や	
受業内容 事後学習・次回事前学習 第14回 受業内容 1 事後学習・次回事前学習 第15回 受業内容 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確 14 法と生物多様性② 一環境注 【事前予習】授業終了時に告自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確	げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 去の進展と課題 げられる次回授業のテキスト箇所: スト箇所を通読し直すとともに、打	を通読し、当該箇所の論点や 受業内容を振り返り、当該箇 を通読し、当該箇所の論点や	
事後学習・次回事前学習 第14回 受業内容 1 事後学習・次回事前学習 第15回 受業内容 1 会業内容 1 全額	自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ所の論点や自らの見解を再確 14 法と生物多様性② 一環境法 【事前予習】授業終了時に告 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ 所の論点や自らの見解を再確	スト箇所を通読し直すとともに、打認する。 去の進展と課題 げられる次回授業のテキスト箇所を スト箇所を通読し直すとともに、打	受業内容を振り返り、当該箇	
授業内容 1 事後学習・次回事前学習 第15回 受業内容 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	【事前予習】授業終了時に告 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ 所の論点や自らの見解を再確	げられる次回授業のテキスト箇所 スト箇所を通読し直すとともに、打		180分
事後学習・次回事前学習 原 第15回 受業内容 1	【事前予習】授業終了時に告 自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ 所の論点や自らの見解を再確	げられる次回授業のテキスト箇所 スト箇所を通読し直すとともに、打		180分
事後学習・次回事前学習 第15回 受業内容 1 事後学習	自らの見解をまとめる。 【事後学習】今回授業のテキ 所の論点や自らの見解を再確	スト箇所を通読し直すとともに、打		180分
授業内容 1	15 まとめ ―生物多様性の保			
事後学習	15 まとめ ―生物多様性の保			
国後党羽		R全とは何か		
	今回授業のテキスト箇所を通 らの見解を再確認する。	読し直すとともに、授業内容を振	り返り、当該箇所の論点や自	180分
フィードバック	授業中の質疑応答において提 必要に応じて取り上げていく。	起された質問や意見についてはその。	の都度コメントを加える。また	こ、その後の授業においても
評価方法および評価の基準	以上を合格とする。 到達目標1 授業への参加度1 到達目標2 授業への参加度1	講義において質問をするので積極 .0%/30% レポート10%/70% .0%/30% レポート30%/70% .0%/30% レポート30%/70%	的に議論に参加する)、レポー	- ト70%とし、総合評価6(
教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
上物多様性と倫理、社会 5		法律情報出版		
推薦書・参考文献				ı

えで大切な疑問も丁寧に考えていきたいと思います。